



発行所
大府立阿倍野南女
新聞部

部会代表者制なるか

執行部

旧自治会執行部が七月三日に任期を終えてから阿倍野には執行部が成立してはいない。

選挙管理委員会が六月八日に選挙の告示をし、立候補を呼びかけたが、一人の立候補者も現れず、執行部は、二期には体育大会、文化祭といった行事が行われたが、これは議会の承認を得て各期に執行部の仕事を代行したからである。三期にも、五十五年度のクラブ予算の作成やクラスマッチなどがある。しかし、それ以前の問題として執行部の不成立がある。このことに関して、

議会では連日にわたって討議を重ねた。多くの日数を費やしたのは議題が重大であったことと、議員の出席率が悪かったためである。前期の議会における話し合いでは、部会執行部

制(各部会から執行部役員を選出)、議員執行部制(議会から執行部役員を選出)、積極的な立候補者を待つなどの案が出された後、部会執行部制ということになった。後期の議会はその細目に関して討議された。その結果、時間的制約も加

部説

現在の校内を見渡してみると、清掃が十分に行き届いていない。校内を美しくするためには、何よりも清掃の徹底が重要である。そして、そのための具体的な策として、掃除担当の生徒が掃除をいっ加減に怠ることをのびにように担任が監督を行う。保健委員などが考えら

議されて部会代表者制とになりそうである。この案は各部会から選出された代表者が執行部の仕事を代行することである。この制度は各部会での討議を経て、最終的に議会で承認を得ると決定される。任期は一月二十五日の見込みである。

この案の予定は、来年の一月九日に選挙管理委員会が結成され、一月十一日に選挙の告示、一月二十五日まで立候補者があれば同日に選挙が行われる。立候補者がなければ、再び議会で討議されることになる。内容は自治会の則第三十三条

求!投稿



により議会の執行部役員を指名し、自治会員の信任投票を行って執行部を成立させるということになる。

自治会機関誌である「聖火」は来年の二月で三十一回目の発行となる。この聖火を編集・発行する機関である聖火編集委員会は文化祭が終わったから本格的に活動を始めた。今回の聖火の特集としては、十一月二十二日に

汚すを徹底清掃

「汚ない」と感じることを使っても非常に悪い。生徒が使用するトイレなどのから、他に依頼せず、生徒自身が清掃しても良いだろう。

なぜ校内が今のような状態になったのか。それは、生徒各自は、学校を公共物視して、自分たちの物であるという意識がな

行ったアンケート調査の結果を載せる。その内容は五十四年度第一期執行部が不成立であることに對して生徒はどのように考えているかというものである。

一般投稿に関しては十一月十二日から募集を始めた。内容は小説、評論、詩、カッパ・イラスト、表紙絵(カッパ・イラストは黒が青のインクで表紙絵は着色可能)などである。現在の投稿状態は前回の聖火の約半分程度にしか減っていない。十二月十七日まで投稿してほしいとのことであった。

校内が現在ほど汚れることはないはずだ。清掃の徹底について自分たちの生徒態度の面から考えるべきであろう。もちろん清掃以前に汚さないという態度も大切である。そして汚れているならそれを見過ごさず進んで処理するぐらいの心がけが欲しい。このような生徒各自の心掛けで阿倍野も美しい学校になるはずだ。

校内の様子を見るとこの生徒がわかる。言うように、現在の校内の状態は生徒のだらしない態度が物語る。生徒に今以上の規律が身に付けば

社会生活をする上においてエチケットを申すというものは大切である。その大切なものが、我が校の食堂では、全く守られていない。押し合い、し合い、列に割り込む者も多し、自分の注文を他人に依頼する者もいる。また、オバサンへの言葉使いも最低である。「オ、イ、コラ、オバハン」とは何たることだ。こんな風に、食堂を利用するにあたっての問題は数多い。これらは、幼稚園の頃



その意義？

しよう。(生徒手帳大へ「シ参照」というのが、
が校の「生徒心得」に記
されている。しかし、自
習時間を自由時間と取り
違えてゐる生徒が多い。
現在の一年生は入学当
初から、自習時間には授
当の先生が監督して、国
書館の出入りも禁止され
てゐる。そのため、勝手
に教室から出ていくよう
な不心得な生徒は今まで
のところはない。

しかし、二・三年生の
中には、自習時間が始ま
るや否や食堂に駆け込む
生徒がいる。また学校の
裏門やへいを跳び越えて
喫茶店に出入りし、タバ
コを吸うような生徒や、
校外に昼食を食ふに行く
者も数回に見つかり、こ
ゝる。

そのため、二年生も自
習時間を有効に使い、廊
下をわらわとして他のコ

ラスの授業に迷惑をかけないように、個人個人で図書館への出入りは認められないことになった。そして必ず課題が出されるようになった。三年生に聞しては、授業の始まる前にクラス全員が図書室に行くことは認められるが、授業中に出ていくことは禁止されている。

某道の祖である千利休は「茶は湯を煮するに止まる」と言った。茶道というの

クラブスホ

和菓子をあててみた。
 現在、同部には女子部
 員のみれ名が在籍し、週
 に三回（月・水・金）の
 稽古に励んでいる。

茶道で
 得るもの
 は多く、
 お茶の
 たて方、飲み方はもちろ
 ん、和室での礼儀作法を
 学ぶ、作法の一例として
 お茶をが出された時、隣
 の人に对して「お寛ぎ
 」を言い、お点前へつまき

あな

あなたも美しく

をしてゐる人へお茶をた
ててゐる人へ。お点前
ちやうだいいたしますッ
と言う。ここからお互い
が譲り合い、敬い合うと
いうじ
ち美しく
かけを
うば。
――茶道部
舞に

で、顧問の石川先生を囲んで、和気あいあいとして、うたふ動をインジヨイしている。

――幕後部では、現在二年生が一名しかいないため二年生が引退すべきではないという状態。そのため、新入部員を大募集中である。費金は一月二百円。

幕後のひとときをあいしのお茶とお菓子、そしておしゃべりを過ごしてみませんか。作法室までどうぞ。

これまでの一年生の自習時間は静かで、他のクラスから注意されることはほとんどなかった。この聲から二年生も個人で図書館へ行くことが禁じられた。

生徒の中には、自習時間中からいはい、ゆっくりしたいと考える人もいた。また、校外へ出て行くこ

また、自習時間がある
たびに盗難が起こつてい
るというのも事実である。
こういう喫煙や盗難など
の風記の乱れをなくすた
めにも、クウス全体で勉
強していく勇気を作リ
自習時間を無駄な時間にし
ないよう心がけたい。

編集後記

一九七九年最後の新聞
 いかかでしたか。早いも
 ので、もう十二月、朝起
 きるのが辛い季節になり
 ました。遅刻なんかして
 いませんか。
 さて、来週から期末考
 査が始まります。中間考

OH NO!

（試験中）

シーン

カリカリ

カリカリ

カリカリ

カリカリ

カリカリ

食糧へ行くからい歸つてほしいという意見もある。だが、学校へ来ている以上、勉強するのが当然のことなのだから、そのことを考えた上、もう一度暑假時間というものの意義を考へ直すかなければならない。

本年度の就職決定者数は十七名（うち男子一名）ホッと一息という感じでしょうか？残り少ない学生生活をエンジョイして下さい。受験生にとってもはうストスパート、体にはうをつけて頑張ってください。

いばらなければ後が恐い
であるよ。楽しいはずのお
正月が「課題に追われて
」なんてことにならな
いように。

夜遅くまでがんばるの
も良いけど、風邪をひか
ないように気をつけまし
ょうネ。